

令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第一中学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。	52.2	・文章の中で、一文ごとの重要度を自らチェックする活動を取り入れたことで、初めて見る文章に対しても抵抗なく取り組むことができた。 ・文章を読解していく際、教師からの説明を少なくし、生徒に考えさせる時間を増やしたことで、生徒が主体的に学ぶ授業を展開することができた。	・書写の単元に関しては、知識の定着に課題がある。知識として得たものを実際の作品に活用できるように授業改善を行う。 ・自分の考えを上手に伝えるための工夫について課題が見られるため、発表等の際に評価する項目を加えることで、改善を行う。
	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く。	60.1		
	「おれ」は何をなるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く。	81.5		
	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。	38.8		
算数・数学	42を素因数分解する	39.3	・既習の知識が必要な場面は、丁寧に時間を掛け復習を行っているため、文字式や図形などの問題で成果が見られた。 ・生徒同士の学び合いで、「なぜ、どうして」と問い掛ける学習を意識的に行っているため、説明することが求められる問題で成果が見られた。	・数学的用語の理解が必要な問題に課題が見られた。学習指導の際に、分かり易さだけではなく、数学的な用語による表現を意識的に取り入れ、用語に多く触れ慣れさせていく。
	連立二元方程式を解く	72.5		
	ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ。	43.8		
	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について正しく述べたものを選ぶ。	42.1		
理科	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	23	・日常の授業から単元構成を意識し、単元終了後に身に付けた知識・技能を活用した学習課題の解決に取り組んでいる。そのため探究の過程に見通しをもつこと、仮説を立て実験を実施して、その結果を比較し分析解釈することなど科学的に探究する過程に関する問題で成果が見られた。	・地層の広がり方や水素燃料など、授業内で観察や実験が難しい内容に課題が見られた。タブレットを活用し、実験動画を見せるなど工夫していく。 ・実験がうまくいかなかった原因の考察や、実験の不備を指摘する記述問題の無回答が1～2割程度あった。実験がうまくいかない場合の考察を学級内で共有するなど対応していく。
	地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析・解釈する	30.9		
	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおもとを指摘する	32		
	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	47.8		